

青少年赤十字加盟校のためのメニュー 一覧



青少年赤十字は、学校教育を通して、
子どもたちに“いのちの大切さ”を伝えています。



事業部 青少年・ボランティア課 青少年係
〒169-8540 東京都新宿区大久保1-2-15
TEL:03-5273-6751 FAX:03-5273-6749
Email:seishonen@tokyo.jrc.or.jp
HP:<http://www.tokyo.jrc.or.jp/junior/>

(2020年3月版)

青少年赤十字の役割は、誰の心の中にも本来ある
「やさしさ」や「思いやり」を引き出し、育てることです。

目的

「困った人、苦しむ人を見たら何とかしては行かない」という誰の心の中にもある気持ち(人道)。その「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し、育てる。そして、自分や人のいのちと健康を大切にする心、人間として、社会のため人のために尽くす責任を自覚し実行できる奉仕の心、広く世界を知り助け合う心を養うことを目的としています。

～青少年赤十字の3つの柱～

いのちと健康を大切にする力を養う

社会的に弱い立場にある人たちの手助けができる力を養う

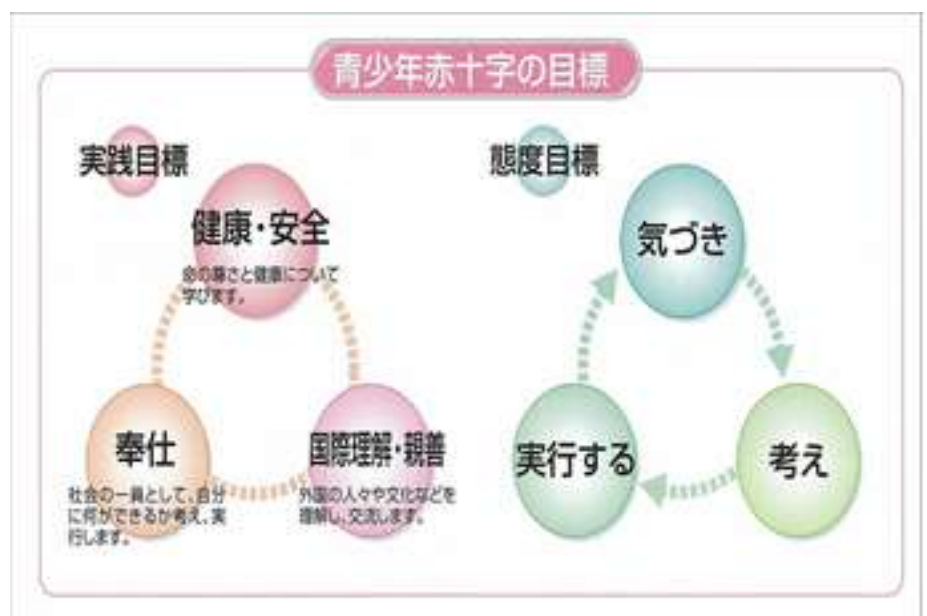
世界が抱える問題に関心を持つ力を養う



目標

上記の目的を具体的な活動に結びつけるために、青少年赤十字では「健康・安全」、「奉仕」、「国際理解・親善」という三つの実践目標を掲げています。また、生徒・児童の主体的で自立した態度を養うために、「気づき」、「考え」、「実行する」という態度目標も掲げています。

都内幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校約620校(園)、約18万人のメンバーが活動しています。



青少年赤十字提供メニュー

講師派遣

登録式や、募金贈呈式、特別活動や道徳、防災教育、国際救援活動、献血についてなど様々なニーズに合わせて、赤十字の人材を講師として派遣します。

資材の提供・貸出

活動のための資材(バッジ、ワッペン)や福祉体験資材(高齢者、妊婦、視覚障害等)、防災ゲームなどの豊富な資料・資材を提供・貸出します。

支部主催事業

「リーダーシップ・トレーニングセンター」や「メンバー連絡協議会」「国際交流事業」など、生徒・児童対象のプログラムを行っています。都内から世界まで、他のメンバーと交流することができます。

ボランティア活動の機会

赤十字の病院や福祉施設、献血ルームでのボランティア活動や、上野恩賜動物園からの依頼による迷子相談ボランティア等、奉仕の精神を養う機会を提供します。

先生方をサポート

指導者対象の各種研修会・講習会に無料で参加できます。学校(園)へ伺って、赤十字提供教材・資材のレクチャーも可能です。

その他たくさん！

「1円玉募金」や「トピックアルバム」「青少年赤十字活動奨励金」など、やさしさと思いやりを育てる術はまだあります。青少年赤十字の提供するプログラムを、ひとつの手立てとしてぜひご活用ください。

それぞれの提供メニュー詳細については、次頁から！

日本赤十字社東京都支部ホームページでは、さらに写真等を交えて詳しくご案内していますので、より具体的な活動内容についてはホームページをご覧ください。

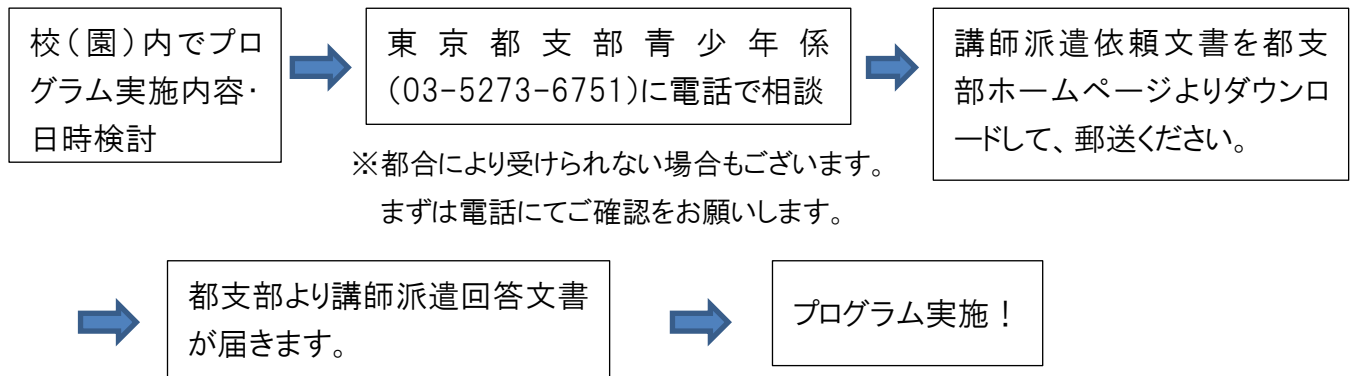
プログラムおよび資材の提供を受けられる際に費用はかかりません。

※一部送料をご負担いただくものもございます。



講師派遣

(1) 依頼手順



(2) プログラム

名称	所要時間(目安)	内容
青少年赤十字登録式	10～15分	年度の初めや新学期に、朝礼や全校集会の時間を利用して行います。学校(園)名入りの旗を飾り、赤十字に関する簡単な講演や、バッジ等の授与を行うことで、園児・児童・生徒らの青少年赤十字の一員としての意識が高まります。
1円玉募金贈呈式	10～15分	「1円玉募金」(※1)として、集めていただいた募金がどのように使われるのかをお話します。 「1円玉募金」以外にも、赤十字への寄付や義援金の贈呈式も行っています。
赤十字について	45～60分	赤十字の「人道・博愛」の精神を、創始者アンリー・デュナンの生涯や、赤十字の活動を通してお話します。「いのちの大切さ」や「生きる」など、授業のテーマに沿ってお話することも可能です。
国際人道法	45～60分	赤十字の根源である「人道」を中心に、「地雷の恐ろしさ」や「少年兵」「戦争にもルールがあること」など、授業のテーマにあわせて内容を設定いたします。
国際救援活動講演(※2)	45～60分	世界各国で展開している救援活動やその国の状況について、職員(医師・看護師・事務職員)がお話いたします。
献血出前講座(※2)	45～60分	献血や血液、輸血を必要とする患者さんについてなど、いのちの大切さ、人と人が助け合うことの大切さを伝えます。
災害学習プログラム	45～60分	目的や対象などのご希望に応じて、応急手当や避難所で役立つ技術等の実技指導を行います。(例:バンダナやビニール袋を使った応急手当・新聞紙スリッパ・毛布ガウン等)
各種赤十字講習		「救急法」や「水上安全法」等様々なプログラムがあります。

(※1)「その他プログラム」(9ページ)参照

(※2)学年・学校(園)単位で2ヵ月以上前にご依頼ください。

資材の提供・貸出

① 資材の提供

(1) 依頼手順

登録内容確認票／別紙申込用紙に、ご希望の個数・受取日を記入し、都支部へ FAX



都支部より送付

(2) 提供資材一覧

資材名称	提供数	申込方法
青少年赤十字バッジ	新規メンバー(新入生等)数	登録内容確認票
青少年赤十字ワッペン	最大 30 個	
アンリー・デュナン肖像画、ちかいセット	学級数	
署名用紙	ご希望の枚数(1枚 42名分)	
青少年赤十字旗(※)	1校につき1旗	別途申請が必要 支部へお問い合わせください
青少年赤十字門標(シール)	1校につき2枚	

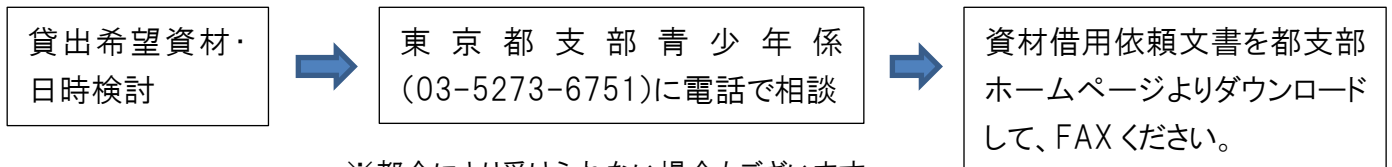
(※)汚損等により掲揚が困難となった場合、再調製いたします。

資材の写真を都支部ホームページでご覧いただけます。

資材の提供・貸出

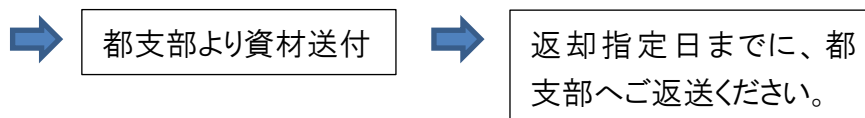
②資材の貸出

(1)依頼手順



※都合により受けられない場合もございます。

まずは電話にてご確認をお願いします。



※返送にかかる代金は、学校(園)で

ご負担いただいております。

(2)提供資材一覧

区分	資材名称	最大可能貸出数	備考
奉仕	高齢者疑似体験セット	20 セット	1 セットを2人1組で使用
	視覚障害者体験用 アイマスク	30 枚	
	視覚障害者体験用 白杖	20 本	
	点字ブロック(線状・点状)	各 20 枚	ユニット点字タイルも各8セットあり
	点字器	70 セット	
	車いす	10 台	※車でのお引き取り・返却が必要
	妊婦疑似体験セット	3 セット	1 セット1人で使用
	ポッチャ体験セット	4 セット	※令和2年度当初 購入予定
国際理解	地雷模型・説明パネル	2 セット	木製の地雷模型
	ネパールの水壺	2 個	ネパールで水汲みに使用されている壺
	各国国旗	各1枚	※ご用意のない国もあります
健康安全	あっぱくんライト	140 セット	簡易的に心肺蘇生を学べるトレーニングキット。小学校～中学生まで。
	スクーマンポコ	35 セット	簡易的に心肺蘇生を学べるトレーニングキット。小学校高学年～高校生まで。

健康 安全	災害対応ジレンマゲーム クロスロード	120 人分	災害時の対応について YES/NO で考えるグループゲーム
	避難所運営ゲーム HUG(ハグ)	28 セット	ゲーム感覚で避難所の運営を学ぶ。 (1 セット 6 人まで)高校生以上。
	ぼうさいダック(DVD 付き)	2 セット	体を動かし声を出しながら危険から身を守ることを学べるカードゲーム。 幼児～小学生低学年向け教材。
	ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!	4 セット	まちがいさがしを楽しみながら学べる防災教材。幼児～小学生向け教材。
	いえまですごろく	20 セット	街中で被災した際に起こりうる事態や知っておくべき知識を学ぶすごろく。小・中学生向け。(1 セット 6 人までプレイ可)
	赤十字防災かるた	50 セット	読み札の裏に解説付き
	DVD「防災の備えと意識 10 か条 ～ 東日本大震災が残した教訓」	1 セット	
	DVD「ナンデくと学ぶ 地震と津波を 知ろう じぶんのいのちを守るために」	1 セット	小学生向け

※いずれの資材も使用開始日の 2 ヶ月前までを受付期限といたします。

※メンバーへの当日の指導は、各校(園)の指導者をお願いしております。

ただし、ご要望により事前に先生方を対象に指導法や資材の使い方について、指導に伺うことも可能です。

※限られた資材を多くの学校(園)にご利用いただくため、必ず指定日までにご返却ください。

支部主催事業・ボランティア活動の機会

(1) 申込手順

開催約 1～2 ヶ月前に、青少年赤十字担当者様に FAX もしくは郵便にてご案内をいたします。



各事業ごとの案内に沿ってお申込ください。

(2) 支部主催事業・ボランティア活動の機会一覧

名称	対象	開催時期
青少年赤十字メンバー連絡協議会	中・高校生	5月～3月内いずれかの土曜日(計6回) 14:30～16:30(最終回のみ17:30まで。)
<p>最初の協議会の場で選出された役員(高校生メンバー)が、青少年赤十字の趣旨に適い、学びながら参加メンバー同士の交流も深められる内容の協議会を毎回企画、運営します。</p> <p>実施例: 災害時のトイレ問題、竹ひごタワー、ハンドケア、貿易ゲーム、非常炊き出し、研修報告会等</p>		
上野動物園迷子相談ボランティア活動	高校生	ゴールデンウィーク期間中の土日祝日
<p>多くの家族連れで賑わうGWの園内は、迷子が発生しやすくなります。「楽しいお出かけ」が悪い思い出とならないよう、迷子を予防するための迷子札の配付や、もし迷子を保護した場合は、不安を和らげるために付き添って話をします。また、迷子の捜索の依頼を受け園内を捜索し、早期解決を目指します。</p>		
東京・ソウル・北京三首都支部 青少年赤十字交流プログラム	中・高校生	7月下旬(5泊6日) ※各都市で、順番に開催。
<p>「国際理解・親善」の実現と三首都間の青少年の協調、交流を促進するために、順番で開催する交流事業。開催国の文化を肌で感じ、自国の文化を伝えることで異文化交流を行います。受入れ国のメンバーは他のメンバーのために率先して案内や説明などを行います。</p>		
夏の体験ボランティア・キャンペーン 冬の体験ボランティア・キャンペーン	中・高校生	8月・12月 ※受入れ日程は施設により異なります。
<p>夏は東京ボランティア・市民活動センターが主催、冬は大学生の奉仕団と一緒に福祉施設や献血ルーム等で活動するボランティア。施設ごとに、入院されている方との触れ合いや献血の呼びかけなど活動は様々です。一日単位の短い期間ですが、奉仕の精神を養い、施設での業務についても学びます。</p>		
青少年赤十字リーダーシップ・ トレーニングセンター	小学5、6年生 中・高校生	8月(2泊3日) 都内
<p>宿泊を伴うプログラムの中で、赤十字についての学習、車いすや高齢者疑似体験等の福祉体験学習、非常炊出し実習、フィールドワークなどを通し、誰かのためになれる知識を身につけ、リーダーとして必要な自主・自律の精神を養います。集団生活の中で生活態度全般にわたっての学びを深めながら、一人ひとりがリーダーシップを発揮できるよう成長することを目的としています。</p>		

先生方をサポート

指導者対象の各種研修会・講習会に無料で参加できます。

学校へ伺って、赤十字提供教材・資材のレクチャーや、各学校や地区のご要望に応じて、防災教育研修や国際人道法・道徳に関する先生方対象の研修会の開催も可能です。都支部青少年係に電話でご相談ください。

主な研修会など

名称	開催時期
青少年赤十字指導者協議会	年1回の総会 年数回の研修会
加盟校の先生方で組織され、青少年赤十字の運営、活動、指導等について研究協議する場です。指導者を対象とした防災教育研修、新任指導者対象研修会などの研修会も行っています。	
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター指導者養成講習会 (本社主催)	5月 (都内)
全国の指導者たちが集まり、リーダーシップ・トレーニングセンターの特徴的な指導を児童・生徒たちが参加するときと同じように、実際に体験しながら学ぶことができる内容です。(2泊3日)	
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター指導者養成研修会 (支部主催)	8月 (都内)
児童・生徒対象のトレセンと同時に開催します。ボランティア・サービスやワークショップなどの特徴的な指導方法を体験的に学ぶことができます。※原則全日程のご参加をお願いしております。(3泊4日)	
青少年赤十字防災教育研修会	8月
青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」の活用方法や指導上のアドバイスをグループワークや模擬授業を通して、体験していただきます。(年1回) また、ご要望の日時にお伺いし、校内研修会を実施することも可能です。	

その他のプログラム

○1円玉募金(青少年赤十字活動資金)

子どもたちが日頃のお小遣いを倅約し出来る範囲で行う募金活動のため、「1円玉募金」と呼ばれています。集まった資金は、世界で苦しんでいる同世代の子どもたち(現在はネパール、バヌアツの2国)の衛生や防災に関する教育推進、教育環境の改善、青少年赤十字メンバーの活動支援等のために使われています。

使用済み切手・プリペイドカード・はがき(書き損じ・未使用)も受け付けています。

○トピックアルバム

1円玉募金と合わせて、実践目標の一つである「国際理解・親善」を実現するためのプログラムがトピックアルバムです。

自国の文化や学校生活、地域の様子を写真や絵を使って自由にアルバムを作り、世界中の赤十字・赤新月メンバーに紹介することで、国際理解を深めます。(英語での作成をお願いします。)

完成したアルバムは海外の子ども達に届けられます。日本国内での交換もご相談ください。

※アルバム台紙をご希望の学校は、都支部作成のものがございますのでご連絡ください。

○青少年赤十字活動奨励金

当支部では、他校の模範となる活動に取り組む加盟校や地区指導者協議会に対し、奨励金の交付を行います。交付要領や申請方法など詳細は、支部ホームページをご覧ください。

交付金額 : (1)青少年赤十字活動奨励金(5校) 1校上限 100,000円

(2)地区指導者協議会運営等助成金(3地域) 1地域上限 100,000円

申請期間 : 4月1日～5月中旬まで

交付予定 : 交付決定・通知 6月中旬

交付金振込 6月下旬

交付金精算 2月末まで

○ボランティア宅本便

不要になった本・CD・DVD・ゲームを、ブックオフオンラインを経由して売ることによって気軽に寄付ができます。申し込みはFAX1枚で、佐川急便が専用の印字済み伝票を持参し、学校へ無料集荷に伺います。詳細は、下記ホームページをご覧ください。

https://www.bookoffonline.co.jp/files/guide/bolcsr_jrc.html